

フッ素 コート剤上市

食品製造装置向けに提案

奥野製薬工業

奥野製薬工業は、フッ素フリーの食品器具用非粘着・防汚コーティング剤「トップセラリリース

FG」の本格販売に乗り出す。同品は、昨今動きが強まるPFAS規制対応を意識した製品だ。また、

食品衛生法や食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度にも準拠しており、安全性も担保され

ている。食品工場向けの装置・器具メーカーなどに対し提案していく。

食品器具には、防汚性や非粘着性、撥水・撥油などの機能を付与する目的で、フッ素樹脂コートが施すことが多い。一方で、最近はフッ素樹脂以外のコーティング剤を求める声が増えている。日本でも特定PFASは使用を禁止されている上、今後は有機フッ素化合物すべてが規制の対象となる可能性があるためだ。そうしたなか同社が開発したトップセラリリースFGは、フッ素樹脂と

同等の防汚性や非粘着性を有する、フッ素フリーのコーティング剤である。シリカ系の素材で代替することにより、ほかの素材ではなかなか実現できなかった、フッ素樹脂同等の効果の持続性を再現することに成功した。また、塗装工程で加える温度が200℃でありながら、施工後の塗膜の耐熱性はフッ素樹脂と同等程度を実現する。コーティング処理時の温度が低いことから、省エネでカーボンニュートラルにも貢献できる。加工に特殊な設備を要さない点も特長だ。

同社では評価用の試作コーティングにも対応している。また同品で塗装した器具の量を希望するユーザーには、同社から施工業者を紹介することも可能だ。

なお、同社が食品分野向けにコーティング剤を開発したのは今回が初だ。自動車などのコーティング剤を開発している表面処理部門と食品部門が部門の垣根を超えて開発した製品となっている。